

第36回 関東支部技術研究発表会 優秀発表者賞を受賞

B4 森田 卓君

平成21年3月13～14日に千葉工業大学津田沼キャンパスで行われた第36回関東支部技術研究発表会における研究発表に対して、社会環境デザイン工学科コンクリート研究室の森田卓君が、優秀発表者賞を受賞した。本賞は、技術研究発表会において優秀な発表を行った35歳以下の講演者に与えられるもので、森田君の発表をしたコンクリート分野（第V部門）では森田君を含めて2名、全7部門で合計15名が受賞した。5月20日に行われた関東支部総会において表彰式があり、磯部支部長より賞状と副賞（腕時計）が贈られた。

受賞対象となった森田君の研究論文のタイトルは、「低鉄筋比領域における膨張コンクリートがなす仕事量の再評価」で、修士課程の水上達也君、半井健一郎准教授、辻幸和教授との連名によるものである。本研究は、高性能コンクリートである膨張コンクリートの性能評価において、辻教授が開発した仕事量に基づく推定手法の適用精度を向上させるため、実験および解析による検討を行ったものである。膨張材量、温度、拘束鉄筋量などの広範な条件について系統的な検討を行い、新たな評価手法の可能性を示した点が高く評価された。本研究は、森田君の卒業研究の一部であり、卒業研究も学科内で優秀発表者として表彰されたものである。卒業研究の内容の素晴らしさが、対外的な学会発表という場において専門家からも高い評価を得られたものといえる。

